

学校と家庭と地域をつなぐ
稚内中央小学校 学校だより

学校HP
QRコード

中央小は3 あ運動
あいさつ・あんぜん・ありがとう

アントレプレナーシップで分析する力・発想力を

① 稚内を住みよいまちにするために

人口が三万人を切った稚内。稚内をさらに住みやすいまちにするために、六年生がまちへ、インタビュールに出向きました。

まずは、海の玄関ハートランドフエリー。日本人の観光客ばかりかと思っていたら、アメリカや中国・韓国など様々な国の人がいることにびっくり。子ども達も、英語を交えたり、ジェスチャーで伝えたりしながら意思疎通をはかっていました。子ども達との交流を喜んでくださった観光客の方から、外国のお土産をいただく場面もありました。

次は稚内駅。バスを待つ市民の方や、列車を待つ観光客の方などにもお聞きしました。

子どもたちは、インタビュールから、たくさんのお話を聞きました。忙しい中、インタビュールを受けてくださったみなさん、ありがとうございました！



② 全国の大学生と一緒に学習しました！

九月三日(木)に、六年生が全国の大学生と一緒に「お金は、ありがとうの交換チケット」をテーマに、アイスクリーム屋の経営ゲームをしました。客のニーズを調査し、「夏の海水浴場では、どの種類のアイスを仕入れると売れるのか」を大学生と一緒に熟考しました。見事予想が当たり、元手よりも資金を増やすチームもあれば、予想が外れてお金を失ってしまうチームも。

需要と供給のバランスを考えることと、場所や天気、ターゲットとなるお客さんなど、あらゆる事象を考慮して物事を考えていく必要があることをゲームを通して学びました。



小・中合同避難訓練を行いました

今年度から、稚内中学校との合同避難訓練を実施しています。校舎が隣接していること、そして次年度から義務教育学校「稚内中央学園」として一つになることを見据えた取組です。今回の想定は、地震とそれに続く津波。まず机の下に入って落下物から身を守り、放送の合図で中学校体育館へ避難。その後、津波を想定して稚内中学校三階まで移動する二段階の訓練となりました。校舎の増設により昨年度までとは異なる経路となりましたが、子どもたちは先生の指示を真剣に受け止め、静かに、速やかに行動していました。

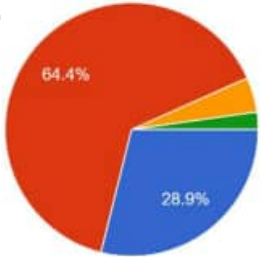
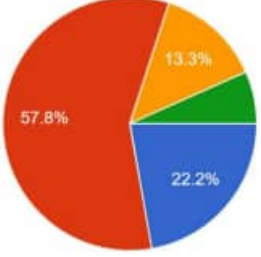
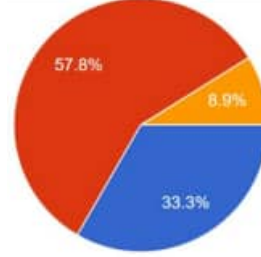
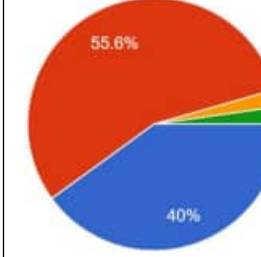
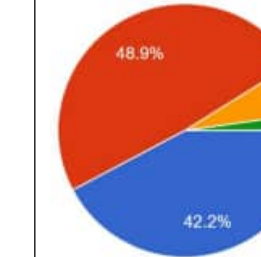
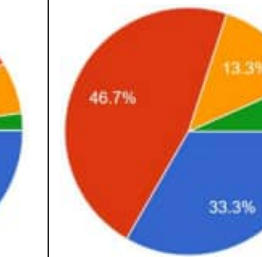


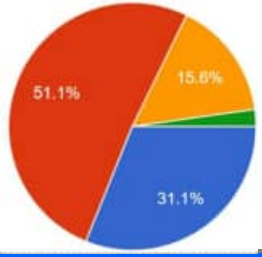
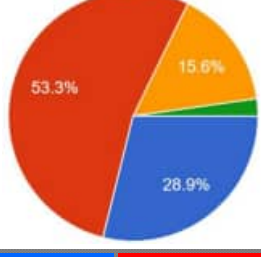
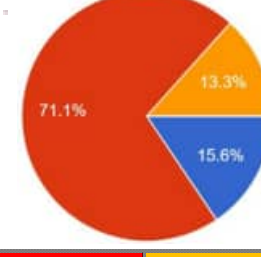
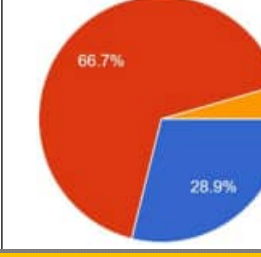
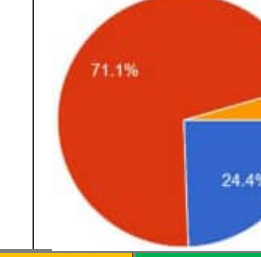
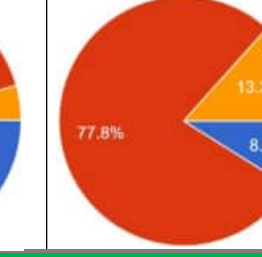
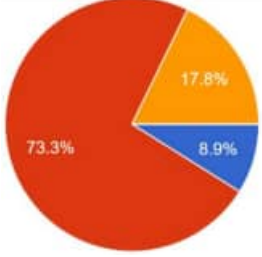
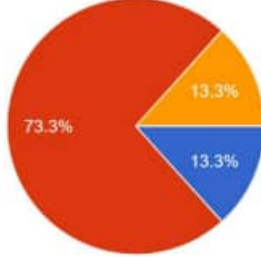
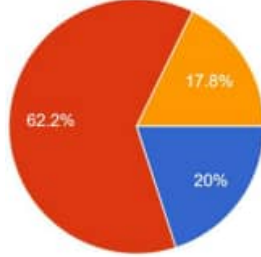
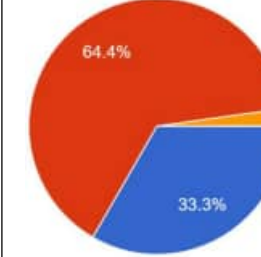
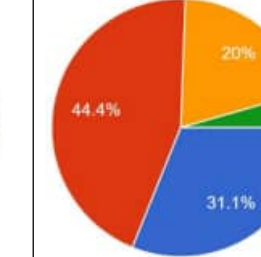
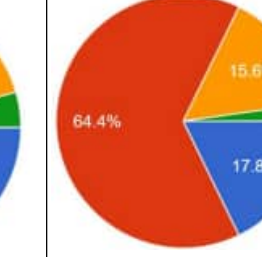
十月行事予定

十月一日(木)	視力検査(五年)
二日(金)	一日授業参観 視力検査(四年)
四日(日)	学年レク(一年)
五日(月)	視力検査(三年)
六日(火)	視力検査(二年)
七日(水)	視力検査(一年)
八日(木)	視力検査(予備日)
九日(金)	前期通知表配布
十二日(月)	スポーツの日
十五日(木)	学習発表会総練習
十六日(金)	通知表 返却締め切り 学習発表会
十八日(日)	振替休業日
二十日(火)	水族館・科学館見学(二年)
二十一日(水)	アントレプレナーシップ(六年)
	警察署見学(三年)
	食に関する指導(三年)
	後期活動委員会②
二十二日(木)	ALT(三・六年)
	道路を守る車見学会(一・二年)
二十六日(月)	カーリング学習(五年)
二十七日(火)	英検ESG
	人権教室(二・三・五年)
	児童総会
二十八日(水)	人権教室(一・四・六年)
	第二回子ども会議
二十九日(木)	ALT(四・五年)
	個人面談①

※ESGとは英語力の到達状況を確認することが
できる試験のことです。



保護者アンケートへのご協力ありがとうございました。					
一学期末に実施した学校評価保護者アンケートですが、オンライン回答45名、48%の皆様にご協力をいただきました。大変ありがとうございました。回答の結果をお知らせします。					
① 学校(先生)は児童に学力をつけさせるために努力している。	② 学校(先生)はいじめなどが無い学校づくりに取り組んでいる。	③学校(先生)は事故防止に努め、子どもの安全についての指導や取り組みをしている。	④学校(先生)はホームページやお便り等で学校の様子を分かりやすく発信している。	⑤学校は、子どもたちの成長の節目となる行事を工夫しながら実施している。	⑥学校(先生)は、お子さんの相談やトラブルに適切に対応している。
					
1 よくあてはまる		2 あてはまる		3 あまりあてはまらない	
				4 あてはまらない	

⑦先生(学校)は、家庭と協力関係ができて(連絡・連携を図っている)	⑧先生(学校)は、お子さんの良いところをほめ、間違った行動を指導している。	⑨ご家庭では、お子さんの学力を伸ばす取り組みをしている。(声掛けや○付け、指導など)	⑩ご家庭では、お子さんの人間関係やコミュニケーションの取り方について、状況を把握したり、アドバイスしたりしている	⑪ご家庭でお子さんと安全について話したり、ルール作りをしたりしている。	⑫ ご家庭では、お子さんのご家庭の様子について、学校や他の保護者と状況を共有している。(懇談会や日常生活の中)
					
1 よくあてはまる		2 あてはまる		3 あまりあてはまらない	
				4 あてはまらない	
⑬ご家庭では、お子さんの年齢に合わせて、より成長するように関わり方を工夫したり改善したりしている。	⑭ご家庭では、お子さんの悩みやトラブルについて話し合い、適切な対応がとれている。	⑮ お子さんについて不安に感じたことや疑問などがあった場合は、教師や学校に相談している。(しようと思う。)	⑯ご家庭でお子さんをたくさんほめ、必要であれば叱っている。	⑰ご家庭で「中央小メディア・スマホ対策～3つの約束」を意識しながら過ごしている。	⑱PTA 活動について、可能であれば参加したり協力したりしようと思う。
					

◆ 保護者から

- ・水筒の中身を、麦茶 OK にしてほしい。水を好んで飲まないの、暑い日は熱中症が心配になる。牛乳を飲めない子は、麦茶を持っても OK だと聞いたが、水分補給の子は麦茶がダメなのは、意味が分からない。→牛乳を飲めない児童の麦茶持参は、給食時限定の代替対応として認めておりました。2 学期からは、「水かお茶」の持参に変更いたしました。
- ・自分の子供のこと、懇談会以外で相談しにくい…言っているのか悩んでいます。→お子さんに関するご相談は、懇談会に限らず、いつでもお受けしております。小さなことでも、どうぞ遠慮なくお声掛けください。
- ・夏休みなどの宿題が、ワークだったり、タブレットだったりプリントだったり、把握しづらいです。→宿題が複数にわたり分かりにくいとお声を踏まえ、今後は工夫していきます。
- ・子ども達が悪い事をしたら、その場ですぐに叱って欲しい。トラブルを起こす生徒が適切な指導をされていないと感じている。そして、去年の担任の先生の話ですが、おかしなルール？が存在していて（授業中に鼻をかんではいけない、くしゃみしてはいけないなど）、子ども達に不要な圧力がかかっていたようです。こういった生理的な行動を規制するのはやめて頂きたいです。→問題行動への指導は、毅然とした態度で臨むとともに、行為の意味を児童自らが振り返り、よりよい行動を選択できるよう、成長を支える指導を進めていきます。なお、「生理的な行動の制限」について、ご心配をおかけして大変申し訳ございません。当校では、お子様の健康と安全を最優先に考え、トイレや水分補給などの生理的な行動につきましては、授業中や活動中であっても我慢させずいつでも行けるよう配慮、対応しております。お子様とのやり取りの中で誤解が生じてしまっていたり、言い出しにくい雰囲気を感じさせてしまっていたりしたら大変心苦しく思っております。お子様がいつでも安心して過ごせるよう声掛けや配慮を改めて徹底してまいります。
- ・クラスで問題になっている子をそのままにしないで欲しいです。→すべての児童が安心して学べる環境をつくるために、複数の職員で組織的な対応に取り組んでいきます。
- ・授業では、分かった風な顔をしていることがきつと多いので、宿題をするときに“本当はよくわからなかった…”ということが多々あります。自分できちんと話せるように、家庭でも指導しますが、まだ出来ていない、終わっていない子だけでなく、不安そうな顔をしている子も花丸に呼んでもらえたらありがたいです。→毎時間の振り返りやノートの記述から、一人一人の理解の状況を見取るようにしていますが、改めて学んだことがしっかりと定着しているかを確認しながら授業を進めていきます。
- ・毎日元気に学校へ行き、帰ってきます。それだけでも親としては感謝しております。学校での様子は親にはわからない部分もたくさんあるので何かあった時にはなんでも教えてください。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。・いつもありがとうございます。以前と変わらず学校や先生方に不満などはありません。夏休み初日に、学校行きたいから夏休み嫌だと言っていたので、学校生活はとても楽しく過ごせているのだと思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。・先生が一生懸命なのは理解しています。応援しています。→温かい励ましのお言葉、大変ありがとうございます。毎日元気に登校する姿や、「学校に行きたい」という声は、私たちにとって何よりの喜びです。今後とも、ご家庭と手を携えて、子どもたちの成長を支えていきたいと考えておりますので、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

◆ 成果

学校の取組では、「学校の様子の発信」、「学力向上への努力」、「安全指導」、「行事の工夫」に高い評価をいただきました。ホームページやお便り、tetoru 等による情報発信など、取り組みをご理解いただいていることを大変ありがたく思っております。「家庭との協力関係」「良いところをほめ、間違った行動を指導する」についても、多くのご家庭から信頼をお寄せいただきました。ご家庭に関する項目では、「たくさんほめ、必要であれば叱っている」、「人間関係への助言」「安全についての話し合いやルールづくり」が特に高く、「学力を伸ばす取組」「悩みやトラブルへの対応」「学校や他の保護者との情報共有」も、お子さんの学習・生活・心の面にわたって丁寧に関わり添ってくださっている様子がうかがえます。また、「PTA 活動への参加・協力」に関する項目も、学級 PTA を中心とした保護者主導の運営に支えられていることを改めて実感しております。ご家庭のご理解とご協力に、心より感謝申し上げます。

◆ 課題

一方、「いじめのない学校づくり」「相談やトラブルへの対応」はともに約 2 割のご家庭から貴重なご意見をいただきました。「稚内中央小学校いじめ防止基本方針」（本校ホームページ参照）に則り、定期的なアンケートや教育相談により未然防止・早期発見・早期解決を徹底し、組織的に対応していきます。「家庭との協力関係」についても、お子さんの頑張りや変容などを保護者の皆様と共有できるよう改善に努めます。ご家庭の項目で最も低かったのは、前年度と同じく「メディア・スマホ対策～3つの約束～」です。就寝時のスマホ持ち込みやオンラインゲームの使用時間など、学校からの指導と併せ、各ご家庭でのルールづくりをお願いいたします。また、「学校への相談」は、不安や気になることがあれば学校までどうぞ遠慮なくお寄せください。PTA 活動についても、「子どもたちの成長のため」を柱に、無理のない範囲でのご参加・ご協力を引き続きお願いいたします。